

教科	理科	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流とその利用	35	電流:電流・電圧・抵抗について学び、静電気とエネルギーを理解する。 電流と磁界:磁界の仕組みを学び、電流と磁界を理解する。	生活においてなくてはならない「電気」に関する知識を「電流」を通して学ぶ。日常の電流・磁界に関する事物・現象にも関連づける。電流と共に磁界を理解し、観察、実験に関する技能を身に付ける。	電気に関する実験を、電流・電圧・静電気・磁界などの観点から行う。疑問点を解決できる道筋を協力して考えたうえで実験・観察を行う。	電流と磁界が日常において、どこに関連しているのかを積極的に探そうとしている。
化学変化と原子・分子	35	物質の成り立ち:原子・分子の基礎を学び、物質の分解を理解する。 化学変化:化学変化を学び、酸化と還元、熱について理解する。 化学変化と物質の質量:化学変化を学び、質量変化の法則と原理を学ぶ。	化学分野の基礎である原子・分子を、モデルと共に視覚的に理解していく。そして原子・分子の観点から、酸化と還元・熱・質量の保存の観察・実験を行い、原理と法則を理解していく。	原子・分子に関する実験を、物質の成り立ち、化学変化、物質の質量などの観点から行う。疑問点を解決できる道筋を協力して考えたうえで実験・観察を行う。	原子・分子がすべての物を作り出していることを理解し、どんな現象に関係しているのかを積極的に探そうとしている。
生物の体のつくりと働き	35	生物と細胞:生物の細胞を学び、生物は細胞からできていること、そのつくりを理解する。 植物の体のつくりと働き:植物の活動について学び、葉・茎・根のつくりを理解する。 動物の体のつくりと働き:動物の生命の維持とその他の器官について学び、体のつくりについて理解する。	自らを含むあらゆる生物の体のつくりと働きについて理解し、基本的な概念や原理を学ぶ。 細胞、植物、動物について、観察・実験などに関する基本操作や記録の仕方を身に付ける。	生物に関する実験を、細胞・植物・動物などの観点から行う。疑問点を解決できる道筋を協力して考えたうえで実験・観察を行う。	生物を学ぶことによって、自分自身や他を深く理解しようとしている位。日常において、関係しているの事物・現象に進んで関わろうとしている。
気象とその変化	35	気象観測:気象要素を学び、気象観測の方法と仕組みについて理解する。 天気の変化:気象の変化の原理を学び、その法則を理解する。 日本の気象:日本の気象の原理を学び、その法則を理解する。 自然の恵みと気象災害:気象現象を学び、それが及ぼす恵と災害を理解する。	誰にでも身近にある「天気」について、気象観測・気象災害と共に、日本の天気の特徴を理解する。またそれらを観察し、実験することでより原理の理解を深める。	気象に関する実験を、気象要素、観測、災害などの観点から行う。疑問点を解決できる道筋を協力して考えたうえで実験・観察を行う。	気象とその変化を学び、日常において、気象に関係しているの事物・現象に進んで関わろうとしている。